

省エネルギー部門

■ 大 賞 ■

●受賞者名 酪農ヒートポンプ協議会 〒086-1159 標津郡中標津町青葉台14番地35 TEL 0153-73-3412 FAX 0153-73-3657		代表 柳田 清志
設立年月	平成22年5月	

●取組内容

ミルクヒートポンプシステムの導入

搾った牛乳の熱を取り出し、生産・酪農施設の洗浄温水として利用するミルクヒートポンプシステムを開発。搾乳から取り出した熱を貯湯タンクに保存することにより、安定した温水供給を実現。酪農家の営農コスト削減やCO₂排出削減を目指すと同時に、ヒートポンプの普及を促進。

●選考理由

牛乳の冷却熱に着目した斬新性、先進性を評価。また、経済性も高く、酪農規模にかかわらず応用が可能であり、今後、酪農地帯への幅広い普及が期待される。



ミルクヒートポンプシステムの風景1



ミルクヒートポンプシステムの風景2

■ 奨励賞 ■

●受賞者名 浜中漁業協同組合 〒071-0372 厚岸郡浜中町霧多布東1条1丁目21 TEL 0153-62-2121 FAX 0153-62-2576 URL http://www.kiritappu.jp/home/nn/tokusan/hamanakaGK.html		組合長 北館 清
設立年月	昭和24年7月	

●取組内容

サンマ漁船の集魚灯へのLED照明の導入

漁船1隻の集魚灯として、LED照明15本、探照灯1基、メタルハライド光源3本を設置。船上の劣悪な環境下で照度が必要な集魚灯として、LEDを先進的に導入した。風雨や塩水にさらされる環境に耐えられるよう、独自にソケット部分に防水措置を施し、省エネ効果を発揮。

●選考理由

室内や街路灯など陸上での使用が一般的なLED照明を、船上でも利用できるよう工夫した斬新性、先進性を評価。集魚灯はサンマ漁やイカ漁には不可欠であり、燃油高騰に悩む他の水産業への幅広い導入促進が期待される。



新エネルギー部門

■ 大 賞 ■

●受賞者名 北海道電力株式会社 〒060-8677 札幌市中央区大通東1丁目2番地 TEL 011-385-6314 FAX 011-385-6710 URL http://www.hepco.co.jp/		取締役社長 佐藤 佳孝
設立年月	昭和26年5月	

●取組内容

大規模太陽光発電システム（メガソーラー）の実証

稚内市声問地区において5年間にわたり独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の委託事業として、稚内市と協力し、出力5,020kWの太陽光発電システムを設置。強風、積雪、低温など厳しい自然環境における大規模太陽光発電システムの性能やNAS電池システムによる出力制御の有効性などについて実証。

●選考理由

本事業は、山梨県北杜市内で進められている事例とならび、大規模太陽光発電システムの実用性を検証する国内最大級の実証実験であり、当該システムを広く普及する上で不可欠な寒冷地など厳しい気象条件における安定した電力供給技術の開発に大きく貢献した点を評価。

また、本事業の検証結果を受け、伊達火力発電所内に1,000kW級の大規模太陽光発電システムの整備も予定されているなど、事業成果の活用も進んでいる。



■ 奨励賞 ■

●受賞者名 平取町農業協同組合 〒055-0193 沙流郡平取町本町40番地1 TEL 01457-2-2211 FAX 01457-2-2211 URL http://www.nishipa.or.jp/		組合長 仲山 浩
設立年月	昭和50年3月	

●取組内容

雪氷冷熱を利用した野菜予冷库併設製氷設備の導入

生産量道内第1位のトマト産地を代表する全国的なブランドトマト「ニシパの恋人」の出荷前の品質管理を確保するため、予冷貯蔵装置の整備にあたり、自然エネルギー（雪氷）を活用する設備を導入。

●選考理由

雪冷房方式ではなく、ヒートパイプを利用して製造した氷とその融解水による冷水循環型システムを採用することで、積雪が比較的少ない地域においても、雪氷冷熱利用の可能性を示した斬新性を評価。

また、自然エネルギーを活用した食品の高付加価値化の好事例としても発進力が期待できる



製氷庫全景



トマトを貯蔵庫に入れている風景